

国際人間学研究科 言語文化専攻 日本語文化コース

オテキ ヒロナリ

1年生 樗木 宏成さん



俳諧（俳句）や近世演劇など、多岐に渡る専門領域を「地方文化と産業の関係性に関する研究」として一本化できたのは、次世代プログラムに取り組み、俯瞰的な視点で文化研究を見直すことができたからです。また、本プログラムのワークショップ等で学内の研究者、あるいは学外の企業の人々からアドバイスを得ることができ、研究視点を豊かにするチャンスが数多く存在します。今後も研究視点の充実に努め、柔軟な分野融合研究が実現できるよう精進します！

【後輩に向けたメッセージ】

博士後期課程は、研究力の飛躍的上昇が期待できます。もし、進学を検討しているのであれば、次世代プログラムに是非挑戦してみてください。本質的な研究力（分野開拓力と専門領域の追究力）を養うチャンスです！

樗木宏成君の次世代プログラム制度での研究は蕉門の裾野を広げた美濃派を、俳諧のみでなく、経済圏や地芝居などとの交流の中で捉えようとしたもので、本学の東濃地区との連携も視野に入れて行っているものです。



オカモト サトシ

指導教員 岡本 聡教授